



2022-2023 年度 国際ロータリー第 2730 地区 宮崎県中部グループ

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 110 回例会 2023 年 4 月 25 日

●例会場 宮崎大学地域デザイン棟

会長 薬王寺文宏 副会長 成合 修 幹事 安田文彦

■会長の時間 薬王寺文宏 会長



みなさん、こんにちは。

去る 4 月 22 日はクラブのゴルフコンペが行われました。

今回は 9 名参加で行われましたが、天気のも恵まれて非常に楽しくプレー

させていただきました。うちのクラブでは通常の例会では食事が無くそのまま例会を聞いて開催となる為、他クラブに比べてコミュニケーションを取る機会が少ないところが弱点だと思っています。これを解消するため、ゴルフコンペや夜間例会を予定し、また会員さんには色々な地区の行事に積極的に出ていただきコミュニケーションを多くとっていただこうと思っていたのですが、ちょっと上手くいかなかったのが、今後も手を替え品を変え試していこうと思います。

ゴルフコンペの話に戻りますが、ご参加いただきました全員が和気あいあいと一日を過ごし、またちょっと仲良しになったと思います。ゴルフをされる方限定となりますが、また機会を作りますのでさらにたくさんの方にご参加いただきたいと思います。当日は 18 ホールプレーする中でショートホールという 1 打でグリーンに乗せることが可能な短いホールが 4 つあるのですが、この中の 2 ホールをチャリティホールと決めて、ここで 1 打でグリーンに乗せることができなかつた方に 500 円の寄付をお願いしました。全員分合計で 7,000 円になりました。さらに明石先生から賞品の一部、また天気と同伴者とハンディに恵まれて私が優勝させていただきましたのでハッピーを、総額 10,000 円を清花ボックスに入れさせていただきます

さて、たまには仕事の話をしていただきます。昨年度から組合の三役を仰せつかって、公的な動きもしなければいけなくなっています。組合では加盟事業所の困りごとを色々解決に動かないといけない

のですが、その中で昨年度は各自治体への陳情にお伺いしました。皆さんご存知の通り、昨年から様々なものが値上がりしました。私たち印刷業者も原材料の値上げで利益を圧迫されていますので、印刷物の値上げのお願いを第一に伺うのですが、それと一緒に著作権の保護のお願いもします。

お客様から印刷のご依頼をいただいて印刷物を納品します。その後、そのお客様からご連絡いただき、「このページの写真とイラストを送ってください」と依頼をいただくことがあります。また官公庁での入札を落札し打ち合わせをしに行くと、昨年データを支給しますのでこれと同じリーフレットを作ってくださいと依頼されることがあります。これらの行為は普通だと思われる方がまだまだ多いのですが、これって著作権が関係しててダメな行為なんですよ。

印刷物を例にとると、お客さまは印刷物の制作を制作会社に依頼し、制作会社は制作した印刷物を納品するというのが一般的な案件の入口と出口になります。この場合、お客さまに納品される印刷物が成果物と呼ばれ、契約上お客さまに納める義務のあるすべてとなります。

一方、成果物の生産工程において生成が必要だった全てのものが中間生成物と呼ばれます。著作権法ではこの中間生成物の著作権は制作会社が持つと定め

ているのです。具体的には印刷に必要な編集データや、それに配置される画像やイラストの各種素材の全て、またボツになった別案なども中間生成物とみなされます。制作会社が著作権を持つ中間生成物は、特別な契約(編集データの譲渡、または著作権の譲渡)をしていない限り、納品の対象にはなりません。

ですから、最初に例を挙げた写真やイラストを欲しいと言われたときは別途費用が必要になりますし、

このデータで同じものを作って欲しいと言われたときは「著作権法上、同じものは作れないので、新しくデザインさせてもらいます」と言って改めて作らせてもらいます。

ということで、著作権は私たちの仕事の根幹を脅かす重要な問題なので、簡単にご紹介させていただきました。

■幹事報告 安田文彦 幹事



みなさん、こんにちは。本日の幹事報告は1点ございます。

2023年4月11日の寄付についてご報告いたします。ロータリー財団が1,771円、米山奨学金が2,340円でした。引き続きよろしくお願いたします。

■各会員からの報告

○奉仕プロジェクト委員会 勢井由美子 委員長



- ①5月21日(日)の海岸清掃活動にはご家族そろってご参加くださいませ！
- ②東京ロータリークラブ例会出席してバナー交換をしてきました。

○クラブ管理委員会 瀧伸一 委員



第110回例会出席について、次の通り報告いたします。

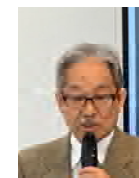
- ・開催日：2023年4月25日火曜日
- ・会員数：40名
- ・ホーム出席：25名
- ・オンライン出席：1名
- ・出席者合計：26名（出席率65.00%）

○クラブ管理委員会 中田哲朗 副委員長



○次回、第111回例会について
2023.5.9(火) 12:00～宮崎大学地域デザイン棟

■卓話



○奉仕プロジェクト委員会
長友和彦 委員

多言語多文化同時学習支援論と今



長友和彦

個人(研究)史～私の約40年～

- (1) 1987年(日本語の習得研究に着手)
 - (2) 1997年(ジャーナル『第二言語としての日本語習得研究』を凡人社より創刊)
 - (3) 2006年(「多言語多文化同時学習支援」の理論・実践・運動の展開)
 - (4) 2019年(「宮崎国際教育サービス(株)」の設立)
- 多言語習得・マルチリンガリズム研究へパラダイムをシフトした。

「チャットGPT」より(そのまま!)引用

- 長友和彦氏が提唱する多言語多文化同時学習支援は、異なる言語や文化背景を持つ人々が同じ教育環境で学ぶ場合に、それぞれの言語や文化背景を尊重し、最適な教育環境を提供することを目的とした支援です。長友氏は、多文化共生を促進し、異文化間の理解を深めることで、より豊かな社会を目指すことを提唱しています。
- この支援の理論としては、異なる言語や文化背景を持つ人々が同じ教育環境で学ぶ場合に、それぞれの言語や文化背景を尊重し、最適な教育環境を提供することが必要であるというものが挙げられます。また、この支援の実践としては、異なる言語や文化背景を持つ生徒が同じクラスで学ぶ場合に、言語サポートや文化理解の授業、母語や文化を活かした学習支援、異文化間のコミュニケーションの促進などが挙げられます。
- 長友氏は、多言語多文化同時学習支援を推進するために、教育機関や社会全体での意識改革を促す運動を展開しています。具体的には、多文化共生の理解を深めるシンポジウムや講演、異文化間のコミュニケーションを促進するイベントの開催などが挙げられます。また、長友氏が代表を務める株式会社MIESは、多言語多文化同時学習支援を推進するための教育サービスを提供しており、教育現場での実践や研究を積極的に行っています。

開南大学
「多言語（華英日韓）多文化同時学習課程」（2015）



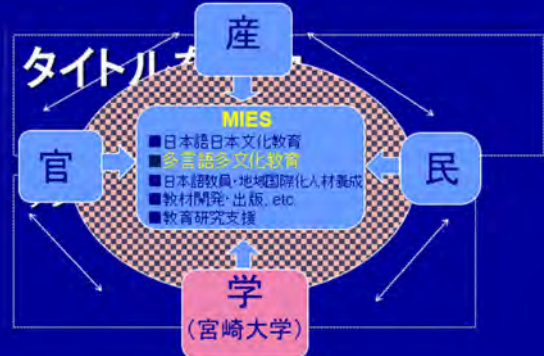
大葉大学
「多言語（中英日法）多文化同時学習課程」（2016）
テキストを入手



「運動」としての「多言語多文化同時学習支援」

- (1) 第1回国際シンポジウム「多言語（中国語・韓国語・日本語）同時学習支援」（宮崎大学主催、2006年7月）
- (2) 第2回国際シンポジウム「多言語（中国語・韓国語・日本語）同時学習支援」（宮崎大学主催、2007年10月）
- (3) 「全球化下多語言同步學習之環境與政策・International Conference on the Environments and Policies of Learning Multiple Languages Simultaneously in the Age of Globalization・グローバル化時代における多言語同時学習環境及び政策」国際研討會(国立政治大学主催・宮崎大学共催、2008年12月)
- (4) 「2011年多語言多文化同歩教／學國際學術研討會・多言語多文化同時學習支援國際シンポジウム」（東呉大学主催・宮崎大学共催、2011年3月）
- (5) 「2011国際シンポジウム：多言語多文化同時學習支援」（宮崎大学主催、2011年12月）
- (6) 「2015年国際シンポジウム特別企画・多言語多文化同時學習支援(大葉大学主催・宮崎大学共催、2015年3月)」

宮崎国際教育サービス株式会社(当初のイメージ)
Miyazaki International Education Service, Inc. (略称:MIES、ミーズ)



「宮崎国際教育サービス株式会社」の設立

目的

日本の労働力不足を背景に、宮崎県を含め、在留外国人が急増することは目に見えていた。

その予測のもと、日本語を核としたコミュニケーション基盤を構築することにより、在留外国人・日本人双方が安心して楽しく生活できる地域社会の創成に寄与したいという強い思い、目的から、宮崎国際教育サービス株式会社(MIES=Miyazaki International Education Service, Inc.)は2019年1月に設立され、その後宮崎大学発ベンチャー企業として承認された。

会社概要

名称: 宮崎国際教育サービス株式会社
(Miyazaki International Education Service, Inc. =MIES)
設立: 2019年1月
代表取締役: 長友 和彦
従業員: 5名
資本金: 10,800千円
事業: 産・学・官・民・金連携による日本語教育・
日本語教員養成、その他
登録講師数: 約60名

タイトル **スーパーシニア党**

宣言(案)

スーパーシニアの、スーパーシニアによる、スーパーシニアのための政党
Party of the super-senior, by the super-senior, for the super-senior

- 一、スーパーシニアは、自己主張する。
- 二、スーパーシニアは、自己成長する。
- 三、スーパーシニアは、支え合う。
- 四、スーパーシニアは、今を生きる。
- 五、スーパーシニアは、万物との出会いを求める。
- 六、スーパーシニアは、多言語多文化社会の構築に寄与する。
- 七、スーパーシニアは、世界のスーパーシニアと連携する。
- 八、スーパーシニアは、スーパーシニア論を築き、発展させる。
- 九、スーパーシニアは、政治力を発揮する。
- 十、スーパーシニアは、死して定年を迎える。

タイトルを入力

なぜSMILE多言語多文化同時学手支援という言語教育を進めてきたのかという問い。それは、多言語多文化という多様性こそ人間の共通性・普遍性であり、自由や平和の根幹にあるからであると答えざるを得ません。

その多様性を積極的に受け入れ、保持・発展させることにしか人間と人間社会の存続し得る道、つまり人間教育の道はないのではないかと思います。言語教育はその道を解らす出すものでなくてはなりません。

「人間は多言語習得能力を持って生まれ、その能力は生涯にわたって保持される。」

Ortega(2013:17)は次のように述べています:

人間の言語能力は潜在的に二言語/多言語に初期設定されており、二言語/多言語が身につく可能性は生涯にわたって確実に存続する。(長友訳)

Age doesn't matter!

ありがとうございました。



そして今.....

教育者から政治家へ

「スーパーシニア党」

設立!!

木の葉色

カーテンの隙間から 差し込む 秋の陽ざしは
きみの肌の ゆくもり
夢を見ていた指先が 小刻みに震え
少女たちの袂(たもと)の花環(はなわ)が 川面に消えていく
潤んだひとみが 黒髪のように揺れ
時の流れを惜しんでる
色付き始めた木の葉に 吐息(いき)がかわり
バラリと一枚 口元に舞い降りた

きみの唇が 木の葉色に染まってく
きみの唇が 木の葉色に ああ.....

陽の落ちた部屋を 出てゆくきみは
細い手を 前にかざし
「ふりむかざいで...」と言う
ふりむかざいで.....

会報発行: 公共イメージ委員会

委員長 大地寛行

宮崎アカデミーロータリークラブ

事務局

〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4F

TEL 0985-22-6767 FAX 0985-22-9170